

# 大宮七里準優勝

## 関東大会出場決定!



**投打でフル回転 燃えた!**  
先発して、打って、そして締めた!  
まさにフル回転。小池亜純  
写真(上)小池 写真(右)表彰式



**選手権大会 準決勝!**  
(水海道球場)  
大宮七里ボーイズ対越谷ボーイズの試合は越谷が先制するも、七里が逆転。終盤越谷が追い付き試合は延長戦へ突入。延長八回に2点を入れた大宮七里がシリーズゲームを制した。

7月16日、選手権大会準決勝、大宮七里ボーイズ対越谷ボーイズ戦が行われた。七里ボーイズのバッテリーは小池一清水。初回は両チーム無得点。2回、先頭にレフトオーバーの三塁打を許すと、三連打で2点の先制を許してしまう。何とか反撃したい七里だったが四回まで森本のヒット1本に抑えられてしまう。小池もその後、ランナーを許すも粘りのピッチングで四回終了時点で2点のビハインド。すると五回、七里にビックチャンスが訪れる。この回先頭の野瀬が四球で出塁すると、続く加藤大がライト線に弾き返り、ノーアウト二、三塁。清水は三振に倒れるが芳賀が死球で繋ぐと、ここでワイルドピッチで1点を返す。なお満塁から2番船水がセンターに弾き返すタイムリーヒットを放ち逆転。更に関上の内野安打の後、小池がレフト線へのタイムリーで2点を追加。この一回一挙5点を挙げた七里が逆転に成功した。五回から七里は継投に入る。ピッチャー小池から森本にスイッチ。四回は何とか無失点に抑えるが五回に犠牲フライで1点。六回にもエラーと内野安打で1点と越谷にジワリジワリと詰め寄られる。そして迎えた最終回、先頭にストレーターの四球を与えてしまうが、送りバントを二塁で封殺、更に三番をファーストフライでツアアウト。しかしここから越谷が驚異の粘りをみせる。(下記に続く)

	1	2	3	4	5	6	7	8	計
大宮七里	0	0	0	0	5	0	0	2	7
越谷	0	2	0	0	1	1	1	0	5

打順	守備	氏名	打数	安打	四死	三振	犠打	盗塁	打点
1	中	大友	4	2	1	0	0	2	1
2	遊二	船水	3	1	1	0	1	0	3
3	右	關上	5	1	0	1	0	0	0
4	一投一	森本	3	1	1	1	0	0	0
5	投一投	小池	3	2	1	0	0	0	2
6	三一遊	小野瀬	1	0	2	0	1	0	0
7	左	加藤大	4	1	0	1	0	0	0
8	捕	清水	4	0	0	2	0	0	0
9	二	芳賀	2	0	2	0	0	0	0
(走)三	田中	0	0	0	0	0	0	0	0

  

順	投球回	氏名	打者	打数	安打	HR	三振	四死	自責
先抑	4回2/3	小池	20	18	4	0	4	2	2
中	3回1/3	森本	19	14	3	0	1	5	2

最終回ツアアウト二塁から四番に対してまたしても四球を与えてしまうと五番にセンター前に運ばれ同点。動揺したのか続くバッターにも四球で満塁の絶体絶命の場面。しかしここは何とセカンドゴロに打ち取り試合は延長戦に突入。八回、ワイルドピッチで三塁打を許すと、一番大友が右中間に値千金の一打を放ち、代走の田中がホームイン。更に船水のセーフティスクイズが見事に決まりこの回2点、7対5とした。だがここからもうすんなり終わらない。森本が先頭にストレーターの四球を与え、続く打者にもスリッポールと苦しい投球。しかしここは何と内野ゴロでワンアウト。ここで七里ベンチが動く。先発した小池を抑えて投入。小池は二番をレフトフライに打ち取り、越谷の中で一番良いバッターを迎えるが、最後は渾身のストレーターが決まりゲームセット。大宮七里が7対5で勝利した。(記者 黒砂糖)

**初の関東大会へ**  
大宮七里ボーイズ初の関東大会が決まった。そこには今までと違った戦いが待っている。それは他県の強豪チームと戦うのもそうだが、毎日、連戦となる事だ。それによりよりシビアな投球制限も加わり、ただ勝つだけではいけない。勝ち方も重要になってくる。一千必勝で勝ち抜け!



**応援の勝利!**  
球場を支配したのは間違いなくスタンドの応援席からの大声援だった! 準決勝では回を増す毎にその声援は大きな渦となり、大宮七里の選手達を勇気づけた。



**見事な決勝打!**  
延長8回右中間に見事な決勝打 大友航希



**決勝のホーム踏んだ!**  
思わずガッツポーズ! 田中



**三打点チームを牽引**  
一時、逆転タイムリーとタメ押しスクイズを決めた 船水康輝